

がまかつ 溪流竿用途表

竿・鉤をそれぞれの溪流におけるフィールド・釣法別に掲載しました。目安としてお役立てください。

源流～中流					条件	源流域で仕掛の投入や、やりとり制限のある場所で釣る	大きめのオモリを使用した仕掛で尺クラスを狙う	細仕掛 (0.2号以下) でスレッカランを狙う	オーソドックスな仕掛 (0.2～0.6号) で尺クラスを狙う	尺上のヤマメ・アマゴや40cmクラスのイワナを狙う
源流～中流					推奨鉤	■ナノヤマメ ■ナノアマゴ ■キジスベシャル ■ハイパー溪流 ■溪流マッチョ	■一刀ヤマメ王 ■ハイパー溪流 ■溪流マッチョ ■マスター溪流	■ナノアマゴ ■ゼロ溪流 ■ゼロヤマメ	■ナノヤマメ ■ナノアマゴ ■溪流 ■くわせヤマメ ■ハイパー溪流 ■マスター溪流	■キジスベシャル ■イワナ ■ハイパー溪流 ■溪流マッチョ ■マスター溪流
ロッド機種名	調子	振り調子*1	適正ハリス	穂先						
マスターモデル	—	6:4	0.1～0.8	スパートップ?	★	★	★★★	★	—	
幻我Ⅱ	TL	6:4	0.1～0.6	スパートップ?	★	★	★★★	★★	—	
	硬調	7:3	0.2～1	スパートップ?	★★	★★	★★	★★★★	★★★★	
	尺抜	7:3	0.3～1	チューブラ	★★	★★★	—	★★★★	★★★★	
春彩	源流	8:2	0.3～1.2	スパートップ?	★★★★	★★★★	—	★	★★★★	
	硬中硬	6.5:3.5	0.15～0.8	ソリッド	★	★	★★★★	★★★★	★★	
	硬調	7:3	0.2～1	ソリッド	★★	★★	★★	★★★★	★★★★	
マルチフレックス粹我	超硬	8:2	0.3～1.2	ソリッド	★★★★	★★★★	—	★	★★★★	
	硬中硬	6.5:3.5	0.15～0.8	スパートップ	★	★	★★★★	★★★★	★★	
	硬調	7:3	0.2～1	スパートップ	★★	★★	★★	★★★★	★★★★	
マルチフレックス春彩	硬硬調	7:3	0.3～1	チューブラ	★★	★★★★	—	★★★★	★★★★	
	源流	8:2	0.3～1.2	スパートップ	★★★★	★★★★	—	★	★★★★	
	硬中硬	6.5:3.5	0.15～0.8	スパートップ	★	★	★★★★	★★★★	★★	
マルチフレックス春彩	硬調	7:3	0.2～1	スパートップ	★★	★★	★★	★★★★	★★★★	
	超硬	8:2	0.3～1.2	スパートップ	★★★★	★★★★	—	★	★★★★	

中流～本流					条件	極細仕掛でスレッカランを狙う	細仕掛で尺クラスを狙う	オーソドックスな仕掛で尺クラスを狙う	オーソドックスな仕掛で40cmクラスを狙う	太めの仕掛で50cmクラス (サクラマス・サツキマスなど) を狙う	大物専用仕掛で60cmクラス (サクラマス・サケ) を狙う	大物専用仕掛でモンスタークラスを狙う
中流～本流					推奨鉤	■ナノヤマメ ■ナノアマゴ ■ゼロ溪流 ■ゼロヤマメ	■ナノヤマメ ■ナノアマゴ ■ゼロ溪流 ■ハイパー溪流	■ナノヤマメ ■一刀ヤマメ王 ■マスター溪流 ■ハイパー溪流 ■溪流マッチョ	■キジスベシャル ■マスター溪流 ■ハイパー溪流 ■溪流マッチョ	■溪流 ■ニジマス ■マスター溪流 ■ランカートラウト	■ニジマス ■ランカートラウト	■ランカートラウト
ロッド機種名	タイプ	振り調子*1	適正ハリス	穂先								
本流スペシャルⅡ	P	7:3	0.3～1	チューブラ	—	—	★★★	★★★★	★★	—	—	
	S	8:2	0.15～0.8	チューブラ	★★	★★★★	★★★★	★★	—	—	—	
	H	6.5:3.5	0.25～1	チューブラ	★	★★	★★★★	★★★★	★	—	—	
	HH	6.5:3.5	0.3～1	チューブラ	★	★★	★★★★	★★★★	★★	—	—	
	XXH	6.5:3.5	1～4	チューブラ	—	—	—	—	★★★★	★★★★	★★	
	SALMON	7:3	2～8	短太チューブラ	—	—	—	—	★★★★	★★★★	★★★★	

★★★最も良い ★★良い ※竿および鉤は、あくまで推奨ですので、メーカー表記の適正ハリスと若干異なる場合があります。なお竿の長さについては、釣り場のポイントに合わせてお選びください。
★使える — 向いていません ※推奨鉤で号数の表示がないものは全号数に対応しています。 ※1竿をすべて伸ばした状態でのおおよその振りの感じで、竿の強さを示すものではありません。

共通仕様 下記の仕様は、がま溪流シリーズの溪流竿に対応しています。



穂先(リアン)
ヘビロが回転し糸のヨレやカラミを軽減する「からみ防止」



穂先(ダイレクト)
先端部が回転し糸のヨレやカラミを軽減する「からみ防止」付き。



道糸のトップへの取り付けは、装着脱が容易にできる「ひきほどもぎ」が最適です。

※写真はイメージです。